

1. 第3回日米インフラフォーラム出席（2月6日）

- (1) 日時：令和2年2月6日（木）13：00～17：10
（レセプション 17：20～19：20）
- (2) 場所：米国テキサス州オースティン市
（ハイアット・リージェンシー・オースティン）
- (3) 参加者：日米インフラ関連企業等計90団体・137名（国土交通省側出席者を除く）
- (4) 主なプログラム
 - ①冒頭挨拶
御法川 国土交通副大臣
ヒューズ テキサス州州務長官
 - ②基調講演
大石 国土交通省大臣官房審議官（国際）
バグ テキサス州運輸委員長
デボノ 米国運輸省首席インフラ資金担当官
 - ③プレゼンテーション
（日本側）
中日本高速道路、NEXCO-WEST USA、前田建設工業、国土交通省、京三製作所、
海外交通・都市開発事業支援機構、国際協力銀行
（テキサス州側）
テキサス州水開発局、オースティン市交通局
- (5) ブース展示
中日本高速道路、NEXCO-WEST USA、日立製作所、JFE エンジニアリング、東海旅客鉄道、PPP 推進支援機構、全日本空輸、富士フィルム
- (6) 概要

御法川国土交通副大臣より、本フォーラムを通じたインフラ分野における日本とテキサス州との間の協力関係の発展や具体的な日米協力プロジェクトの形成に対する期待を表明しました。また、ヒューズ テキサス州州務長官を始めとする米国側の登壇者より、それぞれインフラ分野での日本との連携強化について期待が示されました。

続いて、日本側からは、インフラメンテナンスの技術やPPPの経験、スマートシティ及びモビリティに係る取組、ファイナンス支援について紹介するとともに、米国側からは、テキサス州において今後計画されているインフラプロジェクト等の説明が行われました。

このほか、日本企業がブース展示を実施するなど、本フォーラムに参加した日米関係者に対して、マッチングの場を提供しました。



【冒頭挨拶の様様】



【ヒューズ テキサス州州務長官（中央）、デボノ米国運輸省首席インフラ資金担当官（右）とのフォトセッション】



【会場の模様】



【ブース展示の様様】

2. テキサス高速鉄道プロジェクトに関するセッション出席（2月5日）

- (1) 日 時：令和2年2月5日（水）15：00～17：00
- (2) 場 所：米国テキサス州ヒューストン市（Greater Houston Partnership オフィス）
- (3) 参加者：日米合わせて約40名
 （日本側の主な出席者）
 御法川 国土交通副大臣
 福島 在ヒューストン日本国総領事
 小菅 東海旅客鉄道代表取締役副社長
 高桑 海外交通・都市開発事業支援機構企画総務部長
 （テキサス・セントラル社（※））
 アギーラ 社長兼 CEO
 （※）テキサス高速鉄道プロジェクトの事業主体である米国企業
 （ヒューストン市側の主な出席者）
 ターナー ヒューストン市長
 ハーヴィー Greater Houston Partnership 会頭
- (4) 概要

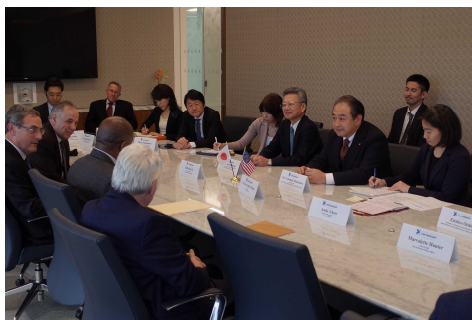
ターナー ヒューストン市長、同市の経済界の要人等を招いたテキサス高速鉄道プロジェクトに関するセッションを開催しました。日本側からは、御法川国土交通副大臣より、日本の新幹線、同プロジェクトの効果等についてアピールを行ったのに続き、日本における新幹線の整備効果や新幹線技術について紹

介しました。テキサス・セントラル社からは同プロジェクトの最新状況について紹介しました。これを受け、同市側からは、同プロジェクトの実現と、これによりもたらされる経済効果等について期待が示されました。



3. ターナー ヒューストン市長等との会談（2月5日）

御法川国土交通副大臣は、ターナー ヒューストン市長や同市の経済界の要人と会談し、テキサス高速鉄道プロジェクトに関して意見交換を行いました。同市長等からは、同プロジェクトは、全米で経済成長著しい2都市を結ぶ素晴らしいプロジェクトであり、これによる両都市、沿線地域への経済効果等について期待が示されました。今後、日米双方が同プロジェクトの早期実現に向けて協力していくことを確認しました。



4. ヒュース テキサス州州務長官との会談（2月6日）

ヒュース テキサス州州務長官より、同州に日本企業が相次いで進出している中、今般の日米インフラフォーラムの開催が日本と同州との間のビジネス関係をより強固にするきっかけになるとして歓迎の意が示されました。今後、日本と同州との間のテキサス高速鉄道プロジェクトを始めとしたインフラ分野等において、更に連携を強化していくことを確認しました。

